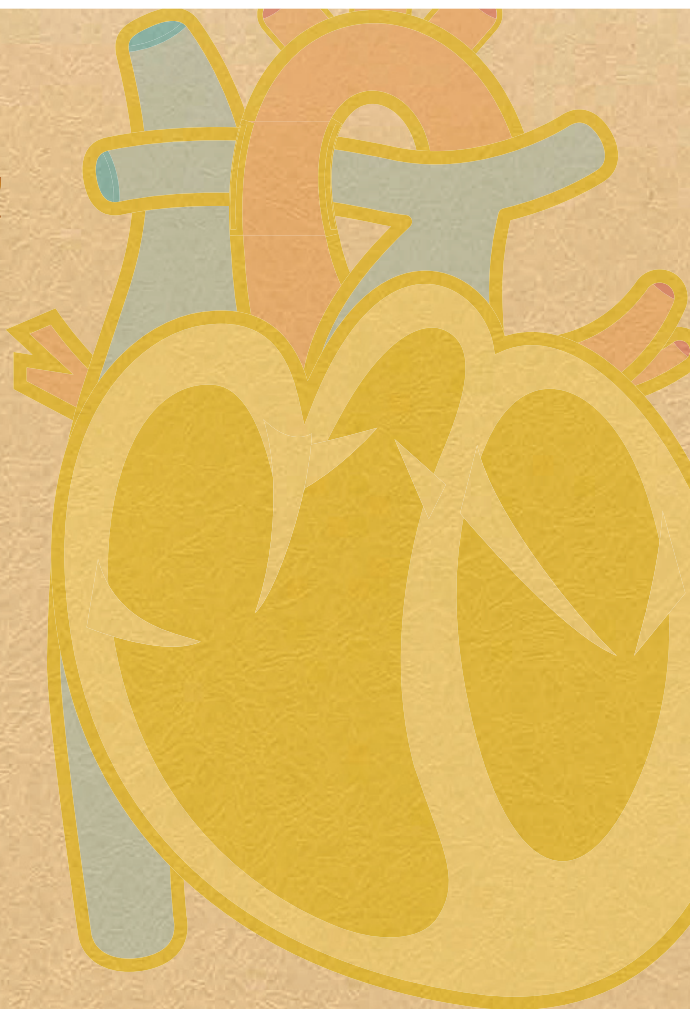




社会医療法人 敬和会 大分岡病院

心臓大血管手術 1000例達成記念

敬和会 経営理念・行動指針

一人一人に宿る、かけがえない尊い「生命」に思いを致し、その尊厳性に対して合掌し、人生という大きな輪の中で、また、地域社会の中で、大きく合い和し、共に生きることを根本理念とする。

敬和会 行動方針

人間性の尊重 *Hospitality*

規律と責任 *Order*

思いやりと信頼 *Kindness*

前進と創造 *Advance*

人生の灯 *Luminous Lives*



大分岡病院 ミッション ビジョン バリュー

◆ Mission Statement

国際標準の医療を卓越したチームで提供し、患者さん一人一人の健康寿命を延ばすことに貢献します。

◆ Vision Statement

1. 安全で、信頼される救急医療・急性期医療を誇りをもって提供します。
2. 優れた医療人を育成します。
3. 急性期病院として、医療・介護・保健・福祉と良好な連携を構築します。

◆ Value Statement ～Tetra-Happiness (テトラ・ハビネス) ～

1. 生命の尊厳と多様な患者ニーズの最優先
私達は、生命を尊び、患者さんの経験と価値観に基づいたニーズを最優先します。
2. 国際標準による医療の質向上と研究
私達は、国際標準による医療の質向上に努め、診療に貢献できる研究をします。
3. プライバシーの尊重と個人情報保護
私達は、関わる全ての人々のプライバシーを尊重し、個人情報の保護を約束します。
4. 謙虚さとホスピタリティ
私達は、謙虚に行動し、笑顔、目配り、気配り、心配りで相手を思いやり、感動を与えます。
5. 挑戦・成長・育成・変革
私達は、常に挑戦し自己成長と人材の育成により、病院が変革し続けることに力を尽くします。
6. 職員としての誇りと病院を愛する心
私達は、大分岡病院の職員としての誇りと病院を愛する心を忘れません。
7. 信頼・感謝・相互支援
私達は、お互いに信頼・感謝・支援し合い、理念の達成に邁進します。
8. 医療・介護・保健・福祉の連携と公益性の追求
私達は、医療・介護・保健・福祉の連携を通じて公益性を追求し、地域社会の発展に貢献します。



目次

I ご挨拶

理事長	岡	敬二
病院長	立川	洋一
副院長・心臓血管外科部長	迫	秀則
心血管センター長・循環器内科部長	永瀬	公明
敬和会統括院長	森	照明
名誉院長	葉玉	哲生

8 心血管センター あゆみ

9 心臓血管外科

12 循環器内科

14 心血管センター 論文・学会発表一覧

ご挨拶



理事長
岡
敬二

心血管センター 開設10周年に臨んで

大分岡病院心血管センターは多くの皆様のご支援により、平成28年2月、開設10周年を迎えることができました。

当センターの歴史は、センター開設からさらにさかのぼること18年前の平成10年6月に、現立川洋一院長が循環器内科部長として、専門医による診療を開始したことが、その始まりです。その後8年にわたり、心臓カテーテルによる検査や治療を進め、優れた循環器内科医の招へいに尽力し、循環器内科が大分岡病院の診療のもっとも大きな柱となるべく努力されました。

立川洋一院長は、当初から質の高い循環器診療を行うためには、循環器内科と心臓血管外科が共同で診療を行う体制が必須であると訴えておりました。そのため、循環器内科と心臓血管外科のチーム医療を学ぶ目的で、平成17年5月26日、立川洋一院長と共に、米国ネブラスカ州のネブラスカハートセンター（州内唯一のハートセンター）を訪問し、効率よく質の高い心臓病治療を行うための設備と運用の仕組み、チーム医療に驚愕したことを思い出します。

そして、平成18年2月に、大分大学医学部心臓血管外科教室から迫秀則先生を部長としてお迎えし、心臓血管外科が開設されました。開設にあたっては、特に当時の大分大学医学部長、心臓血管外科教授であられた葉玉哲生先生には、大変なご迷惑をおかけしながらも、温かく開設をお許しいただきました。

このような経緯を経て開設を迎えたのちは、多くの職員の協力のもとに開心術開始のための準備を進め、同年7月25日に記念すべき第1例である冠動脈バイパス手術が無事行われました。手術にあたっては大分大学心臓血管外科宮本伸二教授のご配慮により、当時の穴井博文心臓血管外科準教授（現臨床医工学講座教授）に手術のご支援をいただき、緊張感を保ちつつも穏やかな雰囲気の中で順調に手術が進行したことを鮮やかに思い出しています。

その後も、循環器内科の着実な質の向上と共に、心臓血管外科も新しい術式に挑戦し、症例数を重ね、着実に質の高い心臓血管手術の成果を出すことにより、今日を迎えることができました。これまで大変な努力を重ねてこられた立川洋一院長、永瀬公明センター長、迫秀則副院長をはじめ、多くのスタッフの尽力に心から敬意を表するとともに、当センターの診療に信頼を寄せてくださり、多くの患者さんをご紹介いただいた地域の先生方に心から感謝を申し上げます。そして、何よりもこの10年間、センターの発展にご支援をいただいた、大分大学医学部循環器内科高橋尚彦教授、宮本伸二教授、穴井博文教授をはじめ、大分大学医学部の諸先生方には、心から感謝申し上げます次第です。

今後は、さらに大分の地域医療に貢献できるように職員一同努力を重ねるとともに、これからも皆様のご支援を心から願います次第です。

ご挨拶



病院長
立川 洋一

心大血管手術1000例 心血管センター10周年の 道のりと今後の展望

この度、大分岡病院心血管センターが創設10周年を迎え、心臓血管外科での心臓大血管手術症例が1000例に達成しましたことは、偏に連携医療機関の皆様方、関係各位のご支援の賜と感謝申し上げますとともに、これまで一所懸命に努力をしてきた心血管センターの職員に敬意を表したいと思います。

大分岡病院の循環器診療を振り返りますと、その起源は遡ること、昭和の時代になります。葉玉哲生名誉院長が当時、心臓血管外科として循環器の診療を開始しました。循環器内科の専門診療開始は、1998年（平成10年）6月です。大分岡病院の新棟完成と同時に心臓カテーテル室が創設され、このカテ室を使用する循環器内科の立ち上げにあたり、私が大分大学（当時の大分医科大学）から初代常勤内科医・循環器内科医として赴任したのが始まりです。1998年の年末にカテ室はオープンしたのですが、1日目になると急性下壁梗塞の患者さんが来院しました。私の前任施設の矢野庄司部長にサポートを頂き、滞りなく冠動脈インターベンション（PCI）を終了したことを今でも鮮明に覚えています。いかにも救急病院の心カテ室の立ち上がりでした。当時、大分県内で最後発のカテラボとしてスタートしましたので、初期の頃はなかなか症例も集まりませんでした。一時は、循環器内科医は私一人で、消化器内科の先生にお手伝い頂いて検査、治療をしたこともありました。このような心カテ室のスタートですが、実は、心臓カテーテル（検査・治療）が1000例に達成した時点で記念講演会を開催しました。その後、心臓カテーテルだけでは、症例数が十分ではなく、カテラボのスタートと同時に私が立ち上げに関与した血液透析室の診療の関係もあり、透析シャントのカテーテル治療（VAIVT：Vascular Access Interventional Therapy）も手がけるようになりました。さらに、閉塞性動脈硬化症を中心とした末梢動脈疾患のカテーテル治療（EVT：Endovascular Therapy）を大分県内ではもとより九州

でもいち早く取り入れ、創傷ケアセンターのオープンはそのEVTに拍車をかけることになりました。これでカテ施設としての大分岡病院の強みを打ち立てることができましたが、周囲の競合施設との差別化を図るには未だ不十分で、予て岡敬二理事長と心臓血管外科の開設を検討していたところでした。心血管センターの立ち上げにあたり、米国ネブラスカ・ハートセンターの見学に行き、私たちのセンター構想を基に、迫秀則先生招聘のため東京まで押しかけ、ホテルで夜遅くまで私たちの熱い想いを語ったのを昨日のこのように思い出されます。その甲斐あってか、迫秀則先生を中心とした心臓血管外科のチームを2006年（平成18年）に招聘することができたのが大分岡病院心血管センターの始まりです。私は初代心血管センター長としてハートチーム・ビルディングに取り組むと同時に、循環器内科の最先端治療をどんどん導入していきました。PCI領域では、米国までエキシマレーザー治療の研修に行き、レーザー治療が保険適応になる前から高度先進医療として提供できるようにしました。また、EVTの領域でも最先端のステント治療等に取り組み、ICD（植込型除細動器）やCRT（心臓再同期療法）といったデバイス治療を導入しました。さらに、心臓リハビリテーションチームも立ち上げました。その後、循環器内科の全医師が協力して、大分県内でも診療の高い質を誇れる循環器内科に成長しています。心臓血管外科は迫秀則副院長が中心になり、最先端の

手術手技を導入しつつも常に患者安全を第一に考えたきめ細かい診療に徹したことが1000例もの症例を安全に手術、治療できた源泉といっても過言ではないと思います。今後は、最先端の3D内視鏡による低侵襲手術を心臓血管外科医一丸となってどんどん推し進めてくれるものと期待しています。

大分岡病院心血管センターは、循環器内科と心臓血管外科が一体となり、個々の患者さんに最適な診療を提供していることが特徴のひとつです。2つの診療科に加えて心臓リハビリテーションチームや多くの職種からなるチームによる協働が大分岡病院心血管センターの強みと言えるでしょう。チームスタッフがそれぞれのプロフェッショナルリズムを追求し、お互いフラットな関係性で、あるときはリーダーとなり、あるときはサポーター、フォロワーとなり、相互にプロフェッショナルとして尊重し合うことによつてのみ、チームのパフォーマンスが最大限に発揮されます。心血管センターはその様なチームの代表と確信しています。今回の、心血管センター創設10周年、心臓大血管手術1000例の一つの節目として、今後ますます心血管センターの皆さん方のご努力で発展し続け、地域医療に貢献できることを院長として期待しています。連携医療機関の先生方をはじめ、地域の医療、介護施設の皆様方には、地域医療支援病院としての大分岡病院に対しまして、今後とも益々のご支援、ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶



副院長
心臓血管外科部長
迫秀則

心血管センターの 今後の発展を祈念して

「千里の道も一歩から」と言いますが、1000例の心臓胸部大血管手術も、当然第1例目から始まりました。第1例目は10年前の、2006年7月に行った心拍動下冠動脈バイパス術でした。大分大学の穴井博文先生に応援に来て頂き、岡敬二院長（現理事長）に手術の前立ちをして頂いての手術でした。途中、難しいところになって、高度の緊張から震える手を全力で制御しながら手術をしている時に、たぶん呼吸も乱れていたのですが、岡敬二院長が、「一度深呼吸をして!」とアドバイスを頂き、何とか最後まで手術を完遂したことを昨日の事の様に憶えています。その後、皆さんのお陰で、順調に症例を伸ばすことができ、最近では年間120-140例程度を行うまでになりました。これは、心臓血管外科を立ち上げる前に、岡敬二理事長と姫野研三名誉院長が、一般外科、血管外科としての十分な下地を築いて頂いていたからですし、立川洋一院長初め、循環器スタッフがチームとして親密に働いてくれたからできたことです。さらに、私の恩師である葉玉哲生教授（当時大分大学病院院長）と現在の宮本伸二教授、穴井博文教授をはじめ大分大学心臓血管外科のスタッフや首藤利英子先生をはじめとする放射線科のスタッフも全面協力して下さいたことも大変大きな要因です。我々に非常に理解がある麻酔科医の帆足修一先生と手術室スタッフが、いつも協力的に（緊急手術でも全く嫌な顔ひとつせず）仕事に励んで下さったこと、ICU、病棟のスタッフも極めて協力的であったことが現在まで順調に仕事でできた大きな要因だと思っています。さらに、事務仕事で不得意な私を、心臓外科コーディネーター、外来クラークの皆さんが支えてくれているので仕事を続けられています。全てに対して、ただただ心から感謝しています。そして何より、開設当初から私を指導して下さいた岡敬二理事長と葉玉哲生前院長、最初のスタッフ竹林聡先生、卒後研修後、心臓血管外科スタッフに加わってくれた高山哲志先生、その後来てくれた森田雅人先生、田中秀幸先生により現在極めて心強いスタッフ構成となりました。高山哲志先生がアメリカ留学となったとき、大分大学の宮本伸二教授が、嶋岡徹先生、川野まどか先生、梅野惟史先生を派遣して下さい、皆さんも非常に熱心に働いて下さいました。これだけの素晴らしい皆さんに支えて頂いたこと、本当に心から感謝いたしております。

1000例という一つの節目を迎え、今後は、この心臓血管外科をさらに発展させていくことこそが、私の責務であり、よりいっそう日々の診療に尽力していきたいと考えています。

ご挨拶



心臓血管センター長
循環器内科部長
永瀬公明

心臓大血管手術1000例達成および 心血管センター10周年を迎えて

循環器内科は1998年6月より現院長の立川洋一医師が立ち上げ、同年12月より心臓カテーテル治療を開始しました。2006年からは現副院長の迫秀則医師が当院に着任され、心臓血管外科を立ち上げました。そして循環器内科と心臓血管外科による心血管センターができあがりました。迫秀則医師が着任される前は、大分市内に心臓血管外科のある施設は大分大学附属病院と大分県立病院の2ヶ所でした。開心術が必要な患者さんがいれば、大学病院に手術をお願いするしかなく、心臓血管外科ができるのを今か今かと待ち望んでいたことが思い出されます。迫秀則医師は実力を遺憾なく発揮して手術症例は増え、相乗効果でカテーテル治療も増加していきました。心臓血管外科があることにより、2007年にはロータブレーターの施設認定をとることができ、不整脈や心不全の治療に対しても2008年よりICD（植込型除細動器）やCRT（心臓再同期療法）を行うことができるようになり、更に2011年からは県内初のエキシマレーザーによる感染リド除去も可能となりました。またデバイス治療だけではなく、当院の心血管センターは、立川洋一医師と迫秀則医師が同級生ということもあり、循環器内科と心臓血管外科との間に垣根がなく、非常に良好な関係を保ち、週1回内科と外科の医師が集合して合同カンファレンスを開いて、患者さんにより良い治療を目指して両科の立場から治療方針を突き詰めています。また医師だけではなく、看護師・薬剤師・理学療法士・栄養士・臨床心理士等の各職種が集まって心臓リハビリチームを作り上げ、いろいろな面からも患者さんの治療を行っています。このような取り組みに加え、多くの連携医の先生方から患者さんのご紹介をいただき、心臓血管外科は1000例の開心術に到達し、心血管センターも10周年を迎えることができたのではないかと考えています。

これからも技術におごることなく、患者さんをまず第一に考えて、診療にあたっていきたいと思いますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

ご挨拶



敬和会統括院長
森 昭明

心血管センター開設10周年 心臓大血管外科手術1000例達成を祝して

大分岡病院心血管センターは2006年2月に現立川洋一院長（循環器内科医）と現迫秀則副院長（心臓血管外科医）が岡敬二理事長（心臓血管外科医）の下で開設され、本年度で無事めでたく10周年を迎えることが出来ました。

また、迫秀則副院長は2006年7月に第1例目となる冠動脈バイパス移植術を施行し、翌年2007年4月に恩師葉玉哲生教授を病院長としてお迎えしたことで、さらに質の高い充実した手術が実施され、本年6月で心臓大血管外科手術1000例の快挙を達成致しました。常に新しくより安全な低侵襲手術に挑戦し続け、患者さんに大きく貢献しております。

これらの成果は院長、副院長はもとより、現永瀬公明センター長はじめ全スタッフおよび関係者の大変な努力の賜物ですが、長年ご指導ご支援下さった大分大学医学部の高橋尚彦教授や宮本伸二教授はじめ医局の諸先生方に心より感謝申し上げます。

そしてまた、患者さんをご紹介下さった地域の先生方や、ご協力下さった地元住民の皆様にも重ねて御礼申し上げます。

これからも全スタッフ一丸となって、心血管患者さんに最善の医療を提供して行きたいと考えております。今後とも何とぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

ご挨拶



名誉院長
葉玉 哲生

大分岡病院心血管センター10周年・ 心大血管手術1000例達成 ご挨拶

敬和会・心血管センターに於かれましては開設10周年を迎えられ、平成28年6月17日に心臓大血管手術が1000例に達し、地域医療の発展に貢献されていますことを誠に嬉しく存じます。

私と大分岡病院との関係は、私が大分医科大学胸部外科（心臓血管外科・呼吸器外科）に在職中の昭和56年に、現在敬和会理事長であられる岡敬二先生が胸部外科へ入局され、それ以来、大分医科大学の同門施設としてお付き合いさせていただいています。

岡敬二先生は心臓血管外科手術を修得され、平成4年に鶴崎地区にて心臓血管外科の拠点構築を目標に、大分医科大学を退職され大分岡病院長、その後、理事長として経営責任を背負い、現在の敬和会のトップリーダーとして活躍されています。

私は、週3日、血液透析センターにて勤務させていただき、循環器診療に参加できることを幸せに思っています。

大分岡病院の益々のご発展をお祈りいたします。

昭和56.12.7より 大分岡病院 非常勤医師 心臓血管外科
平成19年4月1日～平成25年6月30日 大分岡病院 病院長
平成25年7月1日より 大分岡病院 名誉院長

1980年12月	心臓血管外科外来開始
1998年 6月	循環器内科医 立川洋一 入職 循環器科専門外来開始
1998年11月	血管造影室開設
1998年12月	心臓カテーテル治療開始
1999年 2月	透析室開設
2003年 6月	大分岡病院 心臓カテーテル1,000例記念講演会（音の泉ホール） 循環器科5周年記念 心臓カテーテル1,000例達成 記念誌発行 創傷ケアセンター開設
2004年 2月	
2006年 2月	大分岡病院 心血管センター設立 心臓血管外科医 迫 秀則 入職
2006年 7月	開心術開始（25日）
2007年 4月	葉玉哲生院長着任（大分大学名誉教授 前 大分大学医学部長・心臓血管外科教授）
2007年11月	ロータブレーター冠動脈形成術治療開始 エキシマレーザー冠動脈形成術治療開始（先進医療）
2008年 5月	ICD（植え込み型除細動器）治療開始
2008年 8月	CRT-D（心臓再同期療法）治療開始
2011年 8月	第1回健康ハートの日開催
2011年 9月	第1回世界ハートの日市民公開講座開催（コンバルホール）
2011年10月	ペースメーカーリード抜去術治療開始
2012年 8月	第2回健康ハートの日開催
2012年 9月	第2回世界ハートの日市民公開講座開催（コンバルホール）
2013年 5月	心臓血管外科内視鏡手術開始
2013年 5月	第1回高血圧の日市民公開講座（コンバルホール）
2013年 8月	第3回健康ハートの日開催
2013年 9月	第3回世界ハートの日市民公開講座（iichiko音の泉ホール）
2014年 5月	第2回高血圧の日市民公開講座開催（コンバルホール）
2014年 7月	心臓血管外科医 高山哲志 アメリカ留学（～2016年 9月）
2014年 9月	第4回世界ハートの日市民公開講座開催（ホルトホール大分）
2015年 5月	第3回高血圧の日市民公開講座開催（ホルトホール大分）
2015年 9月	第5回世界ハートの日市民公開講座（ホルトホール大分）
2016年 2月	心臓血管外科「完全内視鏡下左心耳切除術」開始
2016年 6月	心臓血管外科 心大血管手術1,000例目「冠動脈、大動脈バイパス移植術」
2016年 9月	第6回世界ハートの日市民公開講座（コンバルホール） 心臓血管外科医 高山哲志 アメリカ留学修了

◎医師体制

心臓血管外科医	4名
迫 秀則	
田中 秀幸	
森田 雅人	
高山 哲志	

◎認定医等の資格者一覧

循環器内科医	7名
立川 洋一	
永瀬 公明	
宮本 宣秀	
金子 匡行	
浦壁 洋太	
石川 敬喜	
楠 正美	

◎認定医等の資格者一覧

・心臓血管外科専門医	3名
・心臓血管外科専門医修練指導者	2名
・日本胸部外科学会指導医	1名
・日本脈管学会専門医	2名
・日本内科学会総合内科専門医	5名
・日本内科学会認定内科医	2名
・日本循環器学会専門医	8名
・日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医	2名
・日本心血管インターベンション治療学会専門医	1名
・日本心血管インターベンション治療学会認定医	3名
・日本心臓リハビリテーション学会指導士	2名

心臓血管外科

心臓血管外科の概要

大分岡病院心臓血管外科では成人心臓血管外科全般の手術を中心とした診療を行っています。主に行う手術は、冠動脈バイパス術、心臓弁膜症に対する手術をはじめとする心臓手術と、胸部大動脈瘤や大動脈解離に対する人工血管置換術です。腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術や大動脈ステント治療や、下肢閉塞性動脈硬化症に対するバイパス手術も数多く行っています。

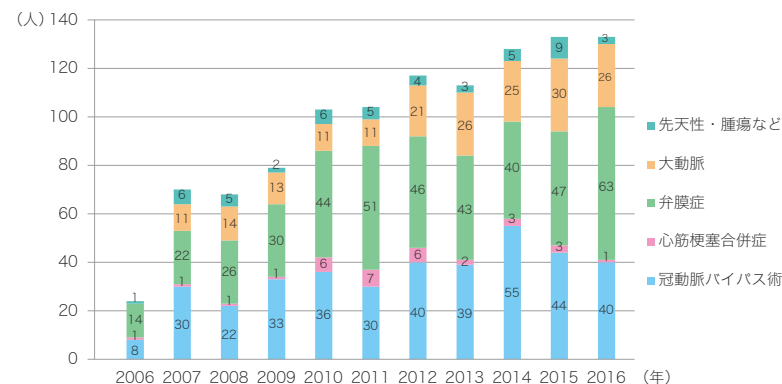
当科の特徴としては、一例一例オーダーメイドの手術を心がけていることと考えています。冠動脈バイパスは開設当初の1例を除き全て心拍動下バイパスで行っており、非常に良好な成果を提供できていると思います。

最近の取り組みとして、低侵襲心臓手術の内でも、特に内視鏡下の心臓手術を積極的に行っています。内視鏡下の心臓手術は、創が小さくて痛みも少ないので、患者さんには喜んで頂いています。当然ながら通常手術よりは難易度が高いのですが、今後もより症例を重ねて、皆さんに喜んで頂ける治療として提供していきたいと考えています。

高齢者の治療も積極的に行っています。85歳を超える方も、普通に生活されている方には問題なく手術ができていますし、90歳を超えた方も既に10例近く手術を行い、全てお元気に退院されました。透析患者さんの手術が多いことも当科の特徴と考えています。透析患者さんは、様々な基礎疾患を抱えていることが多いので、手術手技だけでなく、周術期管理が難しいのですが、当科では術後管理も全て自分たちで行い、順調に経過するよう丁寧な診療を心がけています。



心臓血管外科手術実績



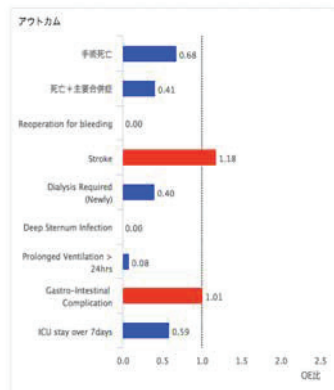
NCD Feedback

2013年より、NCD（National Clinical Database）登録が開始され、心臓血管外科手術の医療情報を体系的に把握し、医療の質向上に資する分析を行うことで、最善の医療を提供し、医療水準の向上に努めています。

冠動脈バイパス移植術

期間 A : 2013/1/1～2015/12/31

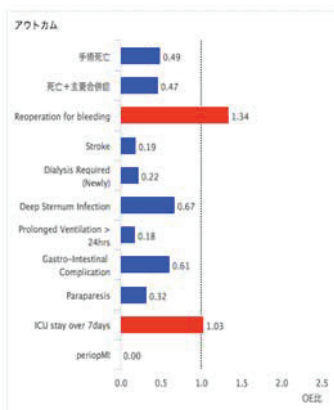
対象期間	イベント	全症例数	イベント 症例数	観測された イベントの 発生率	予測された イベント 発生率
期間A	手術死亡	133	3	2.26%	3.3%
	死亡+主要合併症	133	8	6.02%	14.84%
	Reoperation for bleeding	133	0	0.0%	2.04%
	Stroke	133	4	3.01%	2.56%
	Dialysis Required (Newly)	133	2	1.5%	3.78%
	Deep Sternum Infection	133	0	0.0%	1.77%
	Prolonged Ventilation > 24hrs	133	1	0.75%	8.95%
	Gastro-Intestinal Complication	133	2	1.5%	1.48%
	ICU stay over 7days	133	6	4.51%	7.7%



胸部大動脈瘤手術

期間 A : 2013/1/1～2015/12/31

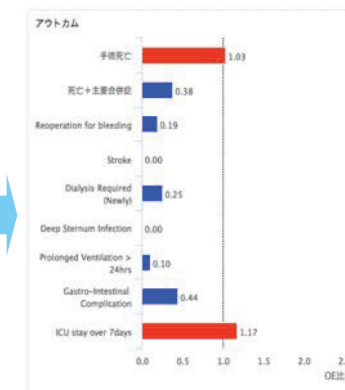
対象期間	イベント	全症例数	イベント 症例数	観測された イベントの 発生率	予測された イベント 発生率
期間A	手術死亡	80	3	3.75%	7.59%
	死亡+主要合併症	80	11	13.75%	29.2%
	Reoperation for bleeding	80	6	7.5%	5.59%
	Stroke	80	1	1.25%	6.51%
	Dialysis Required (Newly)	80	1	1.25%	5.76%
	Deep Sternum Infection	80	1	1.25%	1.88%
	Prolonged Ventilation > 24hrs	80	3	3.75%	20.83%
	Gastro-Intestinal Complication	80	2	2.5%	4.09%
	Paraparesis	80	1	1.25%	3.86%
	ICU stay over 7days	80	16	20.0%	19.35%
	periopMI	80	0	0.0%	0.85%



弁膜症手術

期間 A : 2013/1/1～2015/12/31

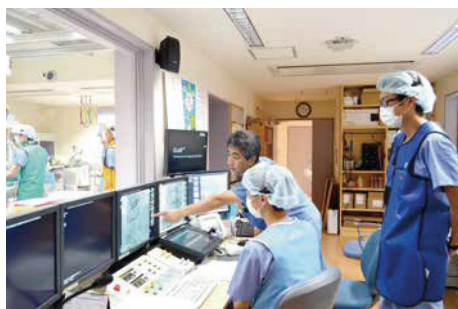
対象期間	イベント	全症例数	イベント 症例数	観測された イベントの 発生率	予測された イベント 発生率
期間A	手術死亡	129	5	3.88%	3.77%
	死亡+主要合併症	129	7	5.43%	14.3%
	Reoperation for bleeding	129	1	0.78%	4.02%
	Stroke	129	0	0.0%	1.74%
	Dialysis Required (Newly)	129	1	0.78%	3.05%
	Deep Sternum Infection	129	0	0.0%	1.62%
	Prolonged Ventilation > 24hrs	129	1	0.78%	7.56%
	Gastro-Intestinal Complication	129	1	0.78%	1.77%
	ICU stay over 7days	129	11	8.53%	7.32%



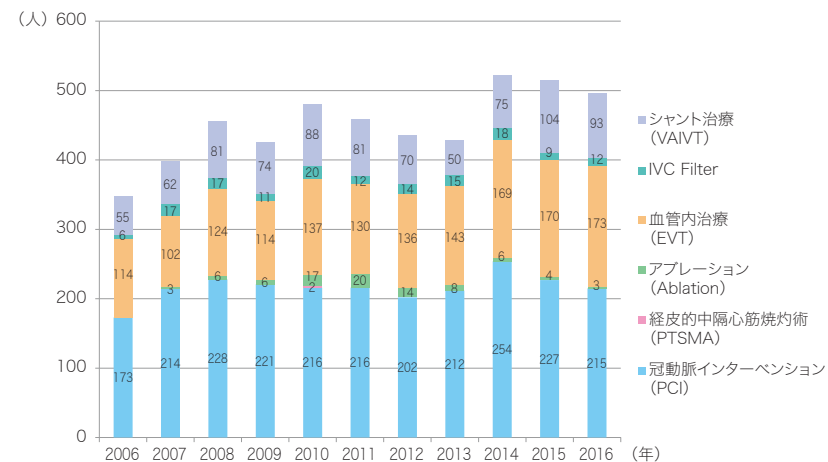
循環器内科の概要

当科は循環器領域全般にわたって診療を行っていますが、内科的治療のみならず、カテーテル治療等の非薬物治療にも力を入れています。心臓のカテーテル治療ではステント留置術はもちろん、ロータブレーター・エキシマレーザー・DCA（方向性冠動脈粥腫切除術）等の治療も行っています。創傷ケアセンターとも協力し創傷治癒のため、末梢動脈のカテーテル治療も積極的に行い、大分県内ではトップの症例数を誇っています。不整脈に対してはペースメーカーや植込型除細動器の植込術を行い、カテーテルアブレーション治療も大学病院の協力のもと治療を行っています。心不全に対しては心臓再同期療法を行っています。近年では大分県で唯一施設認定を受けているエキシマレーザーによる感染リード拔去術も行い、大分県内からの紹介を受けています。疾患の治療だけではなく、心臓リハビリテーションも積極的に行い、入院患者さんの再発予防や早期の社会復帰を目指しています。

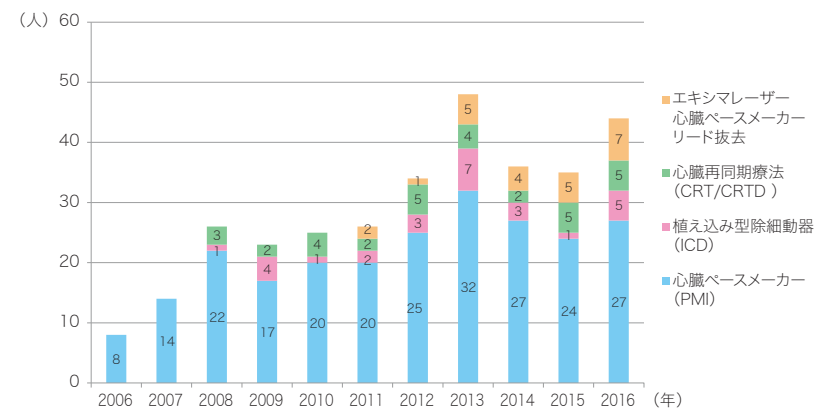
高齢化社会が進んでいき、心疾患患者が増加していくことが予想されますが、今後も研鑽を積みより質の高い医療を提供して、少しでも地域医療に貢献していきたいと考えています。



循環器内科の実績



冠動脈・末梢血管カテーテル治療



ペースメーカー等のデバイス治療

心血管センター 論文・学会発表一覧

2006年

- 創傷ケアセンターにおける循環器科の役割
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
日本医工学治療学会
2006/4/22
- 両側の浅大腿動脈高度狭窄、後脛骨動脈閉塞・高度狭窄病変に対して同時にエキシマレーザー血管形成術を施行した両側重症下肢虚血の1症例
立川洋一、永瀬公明、佐藤崇史
大分岡病院 循環器内科
第10回Intravascular Joint Forum
2006/6/10
- 重症下肢虚血症例の治療
迫 秀則¹⁾、岡 敬二¹⁾、立川洋一²⁾、永瀬公明²⁾、佐藤崇史²⁾、古川雅英³⁾、澁谷博美³⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 循環器内科、3) 形成外科
第47回大分カルジオロジー・ラウンド
2006/6/15
- Efficacy of excimer laser assisted balloon angioplasty of infrainguinal artery disease
Yoichi Tatsukawa, Kimiaki Nagase, Takashi Sato
大分岡病院 循環器内科
第15回日本心臓血管インターベンション学会
2006/6/22-24
- 冠動脈及び末梢血管インターベンションにおける64MSCTの有用性
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第15回日本心臓血管インターベンション学会
2006/6/22-24
- 末梢動脈疾患の血管内治療におけるエキシマレーザー血管形成術の有用性
立川洋一、永瀬公明、佐藤崇史
大分岡病院 循環器内科
第12回日本血管内治療学会
2006/6/30
- 左外腸骨動脈完全閉塞と左内腸骨動脈起始部高度狭窄に対するbidirectional kissing balloon techniqueが有用であったASOの1例
立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、佐藤崇史
大分岡病院 循環器内科
第13回日本心臓血管インターベンション学会 (JSIC) 九州地方会
第3回日本心臓血管カテーテル治療学会 (JACCT) 九州地方会
平成18年度九州合同地方会
2006/10/14
- エキシマレーザー冠動脈形成術 (ELCA) が有効であった3症例
宮本宣秀、立川洋一、永瀬公明、佐藤崇史
大分岡病院 循環器内科
第13回日本心臓血管インターベンション学会 (JSIC) 九州地方会
第3回日本心臓血管カテーテル治療学会 (JACCT) 九州地方会
平成18年度九州合同地方会
2006/10/14
- 下肢閉塞性動脈硬化症に対するエキシマレーザー血管形成術
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第13回日本心臓血管インターベンション学会 (JSIC) 九州地方会
第3回日本心臓血管カテーテル治療学会 (JACCT) 九州地方会
平成18年度九州合同地方会
2006/10/14
- 下肢閉塞性動脈硬化症に対するエキシマレーザー血管形成術の初期成績
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第47回日本脈管学会総会
2006/10/20
- Reversal of delayed-onset paraplegia with thrombectomy of an interposed graft for the intercostal artery after thoracic descending aortic aneurysm repair.
Sako H, Hadama T, Miyamoto S, Anai H, Wada T, Iwata E.
Jpn J Thorac Cardiovasc Surg. 2006 Feb;54 (2) :88-91.
PMID: 16519137 [PubMed - indexed for MEDLINE]
- Effect of prostaglandin E1 on ischemia-reperfusion injury during abdominal aortic aneurysm surgery.
Sako H, Hadama T, Miyamoto S, Anai H, Wada T, Iwata E, Hamamoto H, Tanaka H, Urushino K, Shuto T.
Surg Today. 2006;36 (2) :140-6.
PMID: 16440160 [PubMed - indexed for MEDLINE]

2007年

- 船上で発症した急性大動脈解離の一例
石川敬喜¹⁾、竹林 聡²⁾、迫 秀則²⁾、岡 敬二²⁾
大分岡病院 1) 循環器内科、2) 心臓血管外科
第24回 大分救急医学会・談話会
2007/3/25
- 下肢閉塞性動脈硬化症に対するdistal bypassにおけるMDCTの有用性
迫 秀則¹⁾、岡 敬二¹⁾、竹林 聡¹⁾、古川雅英²⁾、澁谷博美²⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 形成外科
第35回日本血管外科学会学術総会
2007/5/23-25 (名古屋)
- 特異な受傷機転により生じた外傷性大腿動脈静脈瘤の1例
竹林 聡、迫 秀則、岡 敬二
大分岡病院 心臓血管外科
第35回日本血管外科学会学術総会
2007/5/23-25 (名古屋)
- Case review session
Japanese approach for below the knee treatment
Yoichi Tatsukawa
大分岡病院 循環器内科
EuroPCR
2007/5/24 (Barcelona, Spain)
- Five effective cases of excimer laser coronary angioplasty (ELCA)
Nobuhide Miyamoto, Yoichi Tatsukawa, Kimiaki Nagase, Takashi Sato
大分岡病院 循環器内科
第16回日本心臓血管インターベンション学会学術集会
2007/6/21
- Effectiveness of excimer laser assisted angioplasty in the endovascular treatment of infrapopliteal arterial disease
Yoichi Tatsukawa, Kimiaki Nagase, Nobuhide Miyamoto, Takashi Sato
大分岡病院 循環器内科
第16回日本心臓血管インターベンション学会学術集会
2007/6/22
- 心尖部送血、arch first techniqueを用いた弓部置換を行った広範囲A型慢性大動脈解離の1例
竹林 聡、迫 秀則、岡 敬二
大分岡病院 心臓血管外科
第102回日本循環器学会九州地方会抄録
2007/6/23
- 創傷ケアセンターにおける末梢動脈インターベンションの重要性
石川敬喜¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、宮本宣秀¹⁾、佐藤崇史¹⁾、田村 彰²⁾
1) 大分岡病院 循環器内科、2) 大分大学医学部 感染分子制御講座・第二内科
第102回日本循環器学会九州地方会
2007/6/23
- 回腸腸間膜動脈血栓症で発症した感染性心内膜炎の1例
竹林 聡、迫 秀則、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第40回胸部外科学会九州地方会
2007/7/26
- TURBOBOOSTER Atherectomy Systemが有効であった左浅大腿動脈ステント内およびステント末梢再閉塞の1症例
石川敬喜¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、宮本宣秀¹⁾、佐藤崇史¹⁾、田村 彰²⁾
1) 大分岡病院 循環器内科、2) 大分大学医学部 感染分子制御講座・第二内科
第4回JACT・第14回JSIC平成19年度九州合同地方会
2007/8/25
- 冠動脈ステント内再狭窄に対するエキシマレーザー冠動脈形成術症例の臨床的検討
宮本宣秀¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、佐藤崇史¹⁾、田村 彰²⁾
1) 大分岡病院 循環器内科、2) 大分大学医学部 感染分子制御講座・第二内科
第4回JACT・第14回JSIC平成19年度九州合同地方会
2007/8/25
- 腎動脈分岐下腹部大動脈瘤術後に硬膜外血腫にて対麻痺を来した1例
竹林 聡、高山哲志、迫 秀則、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第48回 日本脈管学会
2007/10/25-26 (長野)
- Hand Pitを用いて治療した左鎖骨下静脈血栓症の1症例
安部 望¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、宮本宣秀¹⁾、佐藤崇史¹⁾、田村 彰²⁾
1) 大分岡病院 循環器内科、2) 大分大学医学部 感染分子制御講座・第二内科
第103回日本循環器学会九州地方会
2007/12/1
- 心筋血流シンチグラム、心臓交感神経シンチグラムにて良好な経過を観察できたアルコール性心筋症の1症例
石川敬喜¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、宮本宣秀¹⁾、佐藤崇史¹⁾、田村 彰²⁾
1) 大分岡病院 循環器内科、2) 大分大学医学部 感染分子制御講座・第二内科
第103回日本循環器学会九州地方会
2007/12/1
- Case report
Aortic Saddle Embolism Caused by Left Ventricular Thrombus in a Patient with Cardiac Sarcoidosis
Nagase K, Tamura A, Tatsukawa Y, Kadota J.
2007 Intern Med 46(3): 145.

2008年

- 救肢に難渋した膝窩動脈瘤による急性下肢動脈閉塞の1例
迫 秀則、竹林 聡、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第36回 日本血管外科学会学術総会 2008/4/17
- 3 DCTが診断、手術に非常に有用であった背部動静脈瘻の1例
竹林 聡、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第36回 日本血管外科学会学術総会 2008/4/17
- 急性冠閉塞を発症したバルーン不通過の高度石灰化病変に対してELCAが有効であった1症例
石川敬喜¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、宮本宣秀¹⁾、佐藤崇史¹⁾、田村 彰²⁾
1) 大分岡病院 循環器内科、2) 大分大学医学部 感染分子制御講座・第二内科
第104回日本循環器学会九州地方会 2008/6/23
- 動画3DCTが手術に有用であった心室中隔穿孔、左心室瘤の1例
竹林 聡、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第104回日本循環器学会九州地方会 2008/6/28
- Two effective cases of directed excimer laser atherectomy with TURBOBOOSTER System in superficial femoral artery lesions
Yoichi Tatsukawa, Kimiaki Nagase, Nobuhide Miyamoto, Takashi Sato, Toshinobu Ishikawa
大分岡病院 循環器内科
第17回日本心臓血管インターベンション学会学術集会 2008/7/3
- 腹部大動脈瘤術後対麻痺に対し硬膜外麻酔チューブからの血液吸引で劇的に麻痺が改善した1症例
高山哲志、迫 秀則、岡 敬二、竹林 聡、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第92回 日本血管外科学会九州地方会 2008/8/23
- OCT (Optical Coherence Tomography) の使用経験
宮本宣秀¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、金子匡行¹⁾、石川敬喜¹⁾、田村 彰²⁾、志手淳也³⁾
1) 大分岡病院 循環器内科、2) 大分大学医学部 感染分子制御講座・第二内科、3) 神戸大学医学部 循環器内科
第5回JACT・第15回JSIC平成20年度九州合同地方会 2008/8/30
- Express LD の初期成績
石川敬喜¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、宮本宣秀¹⁾、金子匡行¹⁾、田村 彰²⁾
1) 大分岡病院 循環器内科、2) 大分大学医学部 感染分子制御講座・第二内科
第5回JACT・第15回JSIC平成20年度九州合同地方会 2008/8/30
- 低血糖発作が誘因となった無症候性急性冠症候群の1症例
石川敬喜、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、佐藤崇史
大分岡病院 循環器内科
第56回日本心臓病学会学術集会 2008/9/8
- 心肺停止を起こした急性肺動脈血栓塞栓症 (PAE) に対して緊急手術を施行した1例
竹林 聡、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第27回大分救急医学会・学術集会 2008/11/9
- ハンドピットを用いて血栓溶解療法を施行した上肢深部静脈血栓症の2例
金子匡行
大分岡病院 循環器内科
第1回九州Joint Endovascular Therapeutics (QJET) 2008/11/29
- CLI「透析患者の足を診る・触る・治療する (チーム医療の重要性)」～循環器医の立場から～
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第1回九州Joint Endovascular Therapeutics (QJET) 2008/11/29
- 大分岡病院におけるテルミサルタンの使用経験
石川敬喜
大分岡病院 循環器内科
高血圧学術講演会－高血圧のNext Stageへー 2008/12/9

2009年

- 上肢深部静脈血栓症を合併したサルコイドーシスの1例
石川敬喜、立川洋一、宮本宣秀、永瀬公明、金子匡行
大分岡病院 循環器内科
第284回日本内科学会九州地方会 2009/1/24
- Infrapopliteal CTO intervention My Practical Approach
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
Japan Endovascular Therapeutics (JET) 2009/4/9
- 足背動脈末梢run-off不良の重症下肢虚血症例に対する自家静脈バイパス、遊離筋皮弁併用による一期的治療の1例
竹林 聡¹⁾、迫 秀則¹⁾、高山哲志¹⁾、岡 敬二¹⁾、澁谷博美²⁾、古川雅英²⁾、立川洋一³⁾、葉玉哲生¹⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 形成外科、3) 循環器内科
第37回日本血管外科学会 2009/5/13-15 (名古屋)
- 重症下肢虚血に対するDistal bypassでの中核側吻合の工夫
迫 秀則¹⁾、竹林 聡¹⁾、高山哲志¹⁾、岡 敬二¹⁾、澁谷博美²⁾、古川雅英²⁾、立川洋一³⁾、葉玉哲生¹⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 形成外科、3) 循環器内科
第37回日本血管外科学会 2009/5/13-15 (名古屋)
- シンポジウム「重症虚血肢に対する皮弁・筋皮弁移植症例の検討」
竹林 聡¹⁾、迫 秀則¹⁾、高山哲志¹⁾、岡 敬二¹⁾、澁谷博美²⁾、古川雅英²⁾、立川洋一³⁾、葉玉哲生¹⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 形成外科、3) 循環器内科
第37回日本血管外科学会 2009/5/13-15 (名古屋)
- 重症虚血肢に対する皮弁・筋皮弁移植症例の検討
竹林 聡¹⁾、迫 秀則¹⁾、高山哲志¹⁾、岡 敬二¹⁾、澁谷博美²⁾、古川雅英²⁾、立川洋一³⁾、葉玉哲生¹⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 形成外科、3) 循環器内科
第37回日本血管外科学会 2009/5/13-15
- I型解離、弓部置換術後遠隔期に進行する中核側再解離のため基部置換術を必要とした1症例
迫 秀則¹⁾、竹林 聡¹⁾、高山哲志¹⁾、岡 敬二¹⁾、澁谷博美²⁾、古川雅英²⁾、立川洋一³⁾、葉玉哲生¹⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 形成外科、3) 循環器内科
第37回日本血管外科学会 2009/5/13-15 (名古屋)
- OCTガイド下におけるPCIのメリットとデメリット
宮本宣秀、石川敬喜、金子匡行、永瀬公明、立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第106回日本循環器学会九州地方会 2009/6/27
- TetheringによるMRに対する乳頭筋接合術の効果
竹林 聡、迫 秀則、新谷卓司、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第42回 日本胸部外科学会九州地方会 2009/7/18 (大分)
- 同時に両側人工血管感染を発症した閉塞性動脈硬化症の1例
高山哲志、迫 秀則、竹林 聡、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第94回日本血管外科学会九州地方会 2009/8/22 (別府)
- 重症虚血肢膝下領域動脈病変に対する血管内治療の初期および中期成績
金子匡行、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、石川敬喜
大分岡病院 循環器内科
第6回JACT・第16回JSIC平成21年度CVIT九州合同地方会 2009/8/29
- PCIにおけるOCTの有用性の検討
宮本宣秀、立川洋一、石川敬喜、金子匡行、永瀬公明
大分岡病院 循環器内科
第6回JACT・第16回JSIC平成21年度CVIT九州合同地方会 2009/8/29
- 多彩な病態を呈し治療に苦渋した炎症性大動脈瘤の1例
竹林 聡、迫 秀則、新谷卓司、高山哲志、岡 敬二
大分岡病院 心臓血管外科
第50回日本脈管学会総会 2009/10/29-31 (東京)
- BK領域のEVTにおける合併症
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第2回九州Joint Endovascular Therapeutics (QJET) 2009/11/7
- 右下肢distal bypass術後にグラフト閉塞を来とし、Hybrid治療により救肢・グラフト温存出来た症例
竹林 聡、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第95回 日本血管外科学会九州地方会 2009/11/28 (福岡)
- 維持血液透析患者に合併した急速進行性大動脈弁狭窄症の一症例
福田敦夫¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、宮本宣秀¹⁾、石川敬喜¹⁾、金子匡行¹⁾、迫 秀則²⁾
大分岡病院 1) 循環器内科、2) 心臓血管外科
第107回日本循環器学会九州地方会 2009/12/5

2010年

- EVT Lecture Course -Part 2-Session II: Below the Knee Lesion Educational Lecture
Yoichi Tatsukawa
大分岡病院 循環器内科
CCT2010 2010/1/29
- 腸管壊死で発症した感染性心内膜炎の一例
石川敬喜¹⁾、宮本宣秀¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、金子匡行¹⁾、竹林 聡²⁾、迫 秀則²⁾
大分岡病院 1) 循環器内科、2) 心臓血管外科
第287回日本内科学会九州地方会 2010/1/30
- CLI Hot Topics 2010 Hot Debate 3 Case Selection
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
Japan endvascular Treatment Conference (JET) 2010 2010/4/25
- 体位により著明な右左シャント血流の変動を示したPFO合併Ebstein奇形の一例
福田敦夫、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、金子匡行、石川敬喜
大分岡病院 循環器内科
第108回日本循環器学会九州地方会 2010/6/26
- 左開胸、超低体温循環遮断による部分弓部置換症例
高山哲志、迫 秀則、竹林 聡、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第43回日本胸部外科学会九州地方会総会 2010/7/23
- アンギオシールでの止血後に下肢血流障害を来した一例
石川敬喜、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、金子匡行、福田敦夫
大分岡病院 循環器内科
第17回CVIT九州合同地方会 2010/7/30
- 急性心筋梗塞責任病変での血栓形成抑制にアルガトロバンが有効であった一例
福田敦夫、永瀬公明、立川洋一、宮本宣秀、金子匡行、石川敬喜
大分岡病院 循環器内科
第17回CVIT九州合同地方会 2010/7/30
- 慢性大動脈解離・瘤が原因と思われたDICの3症例
竹林 聡、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第96回日本血管外科学会九州地方会 2010/8/28
- 遠位弓部置換術後の弓部大動脈瘤食道穿破の1例
竹林 聡、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第51回 日本脈管学会総会 2010/10/16
- EVTによる血行再建で治癒したCLI症例の特徴－EVT後の血管造影所見からの考察－
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第2回九州Joint Endovascular Therapeutics (QJET) 2010/11/6
- A to Z フェローシップ BTK
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第2回九州Joint Endovascular Therapeutics (QJET) 2010/11/7
- 左室緻密化障害 (LVNC) に対しCRT-D植え込み術を施行した1例
金子匡行、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、石川敬喜、福田敦夫
大分岡病院 循環器内科
第109回日本循環器学会九州地方会 2010/12/4
- 経心尖部大動脈送血、arch-first technique、両腔吻合を用い弓部置換を行った広範囲Stanford A型慢性大動脈解離の1例。－心尖送血、AFT、両腔吻合での弓部置換術－
竹林 聡¹⁾、迫 秀則¹⁾、高山哲志¹⁾、岡 敬二¹⁾、葉玉哲生¹⁾、立川洋一²⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 循環器内科
日心外会誌39巻4号：211-215 (2010)

2011年

- 左腋窩－両側大腿－右膝窩動脈バイパス術後の繰り返す下肢動脈閉塞に対して腹部大動脈－両側大腿動脈バイパス術を施行した1例
竹林 聡、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第97回 日本血管外科九州地方会 2011/1/29
- 腸管壊死で発症した感染性心内膜炎の一例
石川敬喜¹⁾、宮本宣秀¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、金子匡行¹⁾、竹林 聡²⁾、迫 秀則²⁾
大分岡病院 1) 循環器内科、2) 心臓血管外科
第288回日本内科学会九州地方会 2011/1/30
- 脊髄ドレーナージで回復した弓部置換術後対麻痺の1例
竹林 聡、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第38回日本血管外科学会 2011/4/19-22 (沖縄)
- 左肋間小切開による経心尖左室ベントの有用性 ー高度AR合併の上行仮性大動脈瘤破裂、緊急再手術での経験ー
迫 秀則、竹林 聡、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第38回日本血管外科学会 2011/5
- Aortic valve sparingを行ない良好な結果を得た1例
高山哲志、迫 秀則、竹林 聡、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第110回日本循環器学会九州地方会 2011/6/24 (福岡)
- 動脈硬化性腎動脈狭窄の退縮を認めた一例
楠 正美、立川洋一、宮本宣秀、金子匡行、石川敬喜、福田敦夫、永瀬公明
大分岡病院 循環器内科
日本循環器学会九州地方会 2011/6/25
- SFA、BKにおけるPeripheral Cutting Balloonの使用経験
金子匡行、立川洋一、宮本宣秀、石川敬喜、楠 正美、福田敦夫
大分岡病院 循環器内科
末梢動脈研究会CVIT 2011/7/21
- Free style弁置換術10年後にARが再発した1例
高山哲志、迫 秀則、竹林 聡、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第44回 日本胸部外科学会九州地方会 2011/8/27 (福岡)
- "Hard wire cracking technique" が有用であったBelow-the-knee病変の3症例
石川敬喜、立川洋一、宮本宣秀、金子匡行、福田敦夫、楠 正美
大分岡病院 循環器内科
第18回CVIT九州合同地方会 2011/8/27
- 腸骨動脈領域に留置したballoon expandable stentの変形を来した2症例
福田敦夫、石川敬喜、立川洋一、宮本宣秀、金子匡行、楠 正美
大分岡病院 循環器内科
第18回CVIT九州合同地方会 2011/8/27
- 重症虚血肢に対するチーム医療とインターベンション治療
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第18回CVIT九州合同地方会 2011/8/27
- 重症虚血肢に対するバイパスおよび遊離組織弁移植の同時手術症例の検討。
竹林 聡¹⁾、迫 秀則¹⁾、高山哲志¹⁾、岡 敬二¹⁾、古川雅英²⁾、澁谷博美²⁾、葉玉哲生¹⁾、立川洋一³⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 形成外科、3) 循環器内科
日血外会誌2011；20：921-926
- 「創傷ケアセンター」におけるCLIの治療：大分岡病院におけるチーム医療による下肢救済の取り組み
古川雅英¹⁾、澁谷博美¹⁾、佐藤精一¹⁾、立川洋一²⁾、迫 秀則³⁾
大分岡病院 1) 形成外科、2) 循環器内科、3) 心臓血管外科
J Jpn Soc Limb Salvage Podiatr Med 3：43-46、2011

2012年

- 急性心筋梗塞後に下垂体卒中から副腎機能不全をきたした1例
福田敦夫、宮本宣秀、立川洋一、金子匡行、石川敬喜、楠 正美
大分岡病院 循環器内科
日本内科学会 九州地方会 2012/1/24
- Ao-b ifemoral-popliteal bypassの屈曲によりグラフト閉塞を繰り返した1症例
森田雅人、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第99回 日本血管外科学会九州地方会 2012/2/18 (福岡)
- Meet the Expert 「New device and pioneering technique」
Laser Angioplasty
立川洋一
大分岡病院 循環器内科
JET2012 (Japan Endovascular Treatment Conference) 2012/2/18
- 金属アレルギーで治療に難渋した急性心筋梗塞の一例
福田敦夫¹⁾、宮本宣秀¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、金子匡行¹⁾、石川敬喜¹⁾、楠 正美¹⁾、高山哲志²⁾、森田雅人²⁾、迫 秀則²⁾
大分岡病院 1) 循環器内科、2) 心臓血管外科
第3回大分急性心筋梗塞研究会 2012/7/3
- A case of PSS (Peri-stent contrast staining) and recurrent restenosis of BMS associated with metal allergy
Atsuo Fukuda, Nobuhide Miyamoto, Yoichi Tatsukawa, Kimiaki Nagase, Masayuki Kaneko, Toshinobu Ishikawa, Masami Kusunoki
大分岡病院 循環器内科
第21回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会 2012/7/15
- 右冠動脈の引き抜き損傷を合併した急性大動脈解離の1例
高山哲志、迫 秀則、森田雅人、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第45回 日本胸部外科学会九州地方会総会 2012/7/21-22 (長崎)
- 川崎病後の成人急性心筋梗塞責任病変でPCI後に仮性冠動脈瘤を形成し冠動脈バイパス術の適応となった一症例
福田敦夫、宮本宣秀、楠 正美、石川敬喜、金子匡行、立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第19回CVIT九州合同地方会 2012/9/1
- 悪性関節リウマチ合併患者 (トシリズマブ投与中) に対し大動脈弁置換術を行った1例
森田雅人、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第113回 日本循環器学会九州地方会 2012/12/8 (熊本)
- チーム医療による相補的血行再建戦略の短期成績
古川雅英¹⁾、澁谷博美¹⁾、佐藤精一¹⁾、松本健吾¹⁾、立川洋一²⁾、迫 秀則³⁾
大分岡病院 1) 形成外科、2) 循環器内科、3) 心臓血管外科
J Jpn Soc Limb Salvage Podiatr Med 4 : 157-162、2012
- 重症下肢虚血の大切断の前には血流評価が必要である。大切断のために血行再建術を施行した5例の検討
古川雅英¹⁾、佐藤精一¹⁾、立川洋一²⁾、迫 秀則³⁾
大分岡病院 1) 形成外科、2) 循環器内科、3) 心臓血管外科
創傷Vol.3 (2012) No.3、129-138

2013年

- 急性気管支炎を契機として発症したと考えられる腸間膜脂肪織炎の1例
長野俊久、宮本宣秀、立川洋一、永瀬公明、金子匡行、福田敦夫、楠 正美
大分岡病院 循環器内科
第300回日本内科学会九州地方会 2013/1/12
- Septal superior approachの合併症の検討
高山哲志
大分岡病院 心臓血管外科
第43回 日本心臓血管外科学会学術総会 2013/2/25-27
- 大動脈弁、上行弓部置換術後の大動脈基部破裂・仮性動脈瘤の治療経験
高山哲志、迫 秀則、森田雅人、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第114回 日本循環器学会九州地方会 2013/6/29 (福岡)
- 左回旋枝近位部冠動脈瘤を伴った冠動脈肺動脈瘻に対する1手術例
森 和樹、迫 秀則、森田雅人、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第18回 日本冠動脈外科学会学術大会 2013/7/11-12
- 高度肥満患者の胸腹部大動脈囊状瘤に対する手術経験
森田雅人、高山哲志、迫 秀則、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第46回 日本胸部外科学会九州地方会 2013/7/26-27 (福岡)
- 瘤送血を行った亜急性B型大動脈解離に対する下行置換術の1例
高山哲志、迫 秀則、森田雅人、岡 敬二
大分岡病院 心臓血管外科
第102回 日本血管外科学会九州地方会 2013/8/24-25 (佐賀)
- PADに対する内科・外科同時ハイブリッド治療の有効性
楠 正美、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、金子匡行、石川敬喜、福田敦夫
大分岡病院 循環器内科
第20回日本心血管インターベンション治療学会 2013/8/31
- ポスター128列CTでも判定不能だった大動脈解離の1例
森田雅人、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二、葉玉哲生
大分岡病院 心臓血管外科
第54回 日本脈管学会総会 2013/10/9 (東京)
- Negative Pressure Wound Therapyの応用
松本健吾¹⁾、古川雅英¹⁾、嶋 謙一郎¹⁾、佐藤精一¹⁾、澁谷博美¹⁾、立川洋一²⁾、迫 秀則³⁾
大分岡病院 1) 形成外科、2) 循環器内科、3) 心臓血管外科
第43回日本創傷治療学会 2013/11/14
- 高齢の低心機能大動脈弁狭窄症に対して経皮的動脈弁形成術後に弁置換術を行った1例
森田雅人、迫 秀則、高山哲志、岡 敬二
大分岡病院 心臓血管外科
第115回日本循環器学会九州地方会 2013/12/7 (佐賀)
- 保存的加療を行った孤立性上腸間膜動脈解離の3症例の経験
福田敦夫¹⁾、立川洋一¹⁾、永瀬公明¹⁾、宮本宣秀¹⁾、金子匡行¹⁾、石川敬喜¹⁾、楠 正美¹⁾、迫 秀則²⁾、森田雅人²⁾、高山哲志²⁾
大分岡病院 1) 循環器内科、2) 心臓血管外科
第115回日本循環器学会九州地方会 2013/12/7

2014年

- 広範組織欠損合併CLIに対するdistal bypass、遊離筋皮弁移植同時手術の有用性
森田雅人¹⁾、迫 秀則¹⁾、高山哲志¹⁾、森 和樹¹⁾、岡 敬二¹⁾、古川雅英²⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 形成外科
第42回日本血管外科学会学術総会 2014/5/21-23 (青森)
- エキシマレーザーを用いた心内デバイスリード抜去の9例
宮本宣秀、石川敬喜、楠 正美、福田敦夫、金子匡行、永瀬公明、立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第116回日本循環器学会 九州地方会 2014/6/28
- The benefit of hybrid procedure in the management of peripheral artery disease (PAD)
楠 正美、石川敬喜、福田敦夫、金子匡行、宮本宣秀、永瀬公明、立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第23回日本心血管インターベンション治療学会; CVIT 2014 2014/7/26
- 外科的血栓除去術では困難であった急性下肢動脈閉塞に対してEVTが有効であった一例
浦壁洋太¹⁾、石川敬喜¹⁾、楠 正美¹⁾、福田敦夫¹⁾、金子匡行¹⁾、宮本宣秀¹⁾、永瀬公明¹⁾、立川洋一¹⁾、高山哲志²⁾、森田雅人²⁾、迫 秀則²⁾
大分岡病院 1) 循環器内科、2) 心臓血管外科
第21回日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 九州・沖縄地方会 2014/8/23
- 総肝動脈瘤の1手術例
森田雅人¹⁾、迫 秀則¹⁾、高山哲志¹⁾、岡 敬二¹⁾、佐藤 博²⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 外科
第55回脈管学会総会 2014/10/30-11/1 (岡山)
- Total Contact Castを応用した術後早期リハビリの取り組み
松本健吾¹⁾、古川雅英¹⁾、秋山喜宏²⁾、亀岡恭子²⁾、大塚未来子²⁾、立川洋一³⁾、迫 秀則⁴⁾
大分岡病院 1) 形成外科、2) 総合リハビリテーションセンター、3) 循環器内科、4) 心臓血管外科
J Jpn Soc Limb Salvage Podiatr Med 6 : 56-65、2014
- 相補的血行再建戦略と他職種チームによる下肢救済の取り組み
古川雅英¹⁾、立川洋一²⁾、迫 秀則³⁾
大分岡病院 1) 形成外科、2) 循環器内科、3) 心臓血管外科
Perpars (85) :76-84、2014

2015年

- AMI後の急速な心機能回復に伴い浮遊性となった左室内血栓に対して外科的血栓除去術にて加療した1例
吉岡 純、石川敬喜、楠 正美、福田敦夫、浦壁洋太、金子匡行、宮本宣秀、永瀬公明、立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第309回日本内科学会九州地方会 2015/5/30
- 透析による石灰化で高度狭窄をきたした2症例
嶋岡 徹、迫 秀則、森田雅人
大分岡病院 心臓血管外科
第43回日本血管外科学会 2015/6 (横浜)
- 6 cases of ELCA for in-stent restenosis
宮本宣秀、金子匡行、楠 正美、福田敦夫、石川敬喜、浦壁洋太、永瀬公明、立川洋一
大分岡病院 循環器内科 2015/7/30
- 当院のPADにおける同時ハイブリッド治療 (HP) の治療成績
楠 正美、宮本宣秀、福田敦夫、石川敬喜、浦壁洋太、金子匡行、永瀬公明、立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第63回日本心臓病学会学術集会 2015/9/19
- 当院で経験した膝窩動脈瘤の5例
嶋岡 徹、迫 秀則、森田雅人
大分岡病院 心臓血管外科
第58回日本脈管学会総会 2015/10 (東京)
- 冠動脈穿孔を生じたELCAの2症例
宮本宣秀、金子匡行、楠 正美、福田敦夫、石川敬喜、浦壁洋太、永瀬公明、立川洋一
大分岡病院 循環器内科 2015/11/13
- 高度石灰化病変に対するシャントPTA用耐圧バルーンの有用性
石川敬喜、楠 正美、福田敦夫、浦壁洋太、金子匡行、宮本宣秀、立川洋一、永瀬公明
大分岡病院 循環器内科 2015/11/13
- 急性期の補助循環導入により救命し得たウイルス性劇症型心筋炎の1例
北川雅浩、楠 正美、宮本宣秀、福田敦夫、石川敬喜、浦壁洋太、金子匡行、永瀬公明、立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第119回 日本循環器学会九州地方会 2015/12/5
- 運動負荷併用下冠動脈造影が確定診断に有用であった運動誘発性冠攣縮性狭心症の一例
内田かおる、福田敦夫、楠 正美、石川敬喜、浦壁洋太、金子匡行、宮本宣秀、永瀬公明、立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第119回 日本循環器学会九州地方会 2015/12/5
- 心臓血管外科術後の食事を考える ～最適な食事内容の検討と評価～
井上 真¹⁾、長尾智己²⁾、迫 秀則³⁾、大久保浩一⁴⁾、佐藤 博⁵⁾
大分岡病院 1) 薬剤部、2) 栄養課、3) 心臓血管外科、4) 救急科、5) 外科
外科と代謝・栄養 (49) 5 : 219-226、2015

2016年

- 着型式自動除細動器が有用と思われたCRTD感染患者の一例
藤田崇史¹⁾、宮本宣秀²⁾、楠 正美²⁾、石川敬喜²⁾、浦壁洋太²⁾、金子匡行²⁾、永瀬公明²⁾、立川洋一²⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 循環器内科
第120回 日本循環器学会九州地方会 2016/6/25
- 偽腔内かぼぼ血栓化したStanford B型解離がA型解離に進展した急性動脈解離の一例
藤田崇史¹⁾、宮本宣秀²⁾、楠 正美²⁾、石川敬喜²⁾、浦壁洋太²⁾、金子匡行²⁾、永瀬公明²⁾、立川洋一²⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 循環器内科
第314回 日本内科学会九州地方会 2016/8/6
- 外腸骨動脈から総大腸動脈の閉塞に対して血管内治療と外科的形成術のハイブリッド治療を行った一例
金子匡行、楠 正美、石川敬喜、浦壁洋太、金子匡行、宮本宣秀、永瀬公明、立川洋一
大分岡病院 循環器内科
第23回 日本心臓カテーテル治療学会九州地方会 2016/8/20
- うっ血性心不全、高血圧、急性腎障害、下肢虚血にて発症した下行大動脈内膜肉腫の1例
田中秀幸¹⁾、森田雅人¹⁾、梅野惟史¹⁾、内田かおる²⁾、嶋岡 徹¹⁾、卜部省吾³⁾、麻生宣子⁴⁾、迫 秀則¹⁾
大分岡病院 1) 心臓血管外科、2) 循環器内科
3) 大分県立病院 病理部長、4) 大分中村病院 内科副部長
第57回 日本脈管学会総会 2016/10/14
- 左室心尖部血栓に対する内視鏡下血栓摘除の2例
田中秀幸、迫 秀則、森田雅人、梅野惟史、藤田崇史、岡 敬二
大分岡病院 心臓血管外科
第27回 九州心臓外科手術手技研究会 2016/11/19

編集後記

2016年6月に、心大血管手術1,000例の節目を迎えました。あわせて心血管センター設立10周年でもあり記念誌の作成にあたり、センター立ちあげの下積み時代から、多くの医師やメディカルスタッフの関わりを再確認し、施設総力で先進的な医療に取り組み、築き上げた心血管センターのチーム医療を振り返りながらまとめました。

記念誌は、「シンプルで、実績をしっかりと出そう」というコンセプトで作成しました。心臓血管外科の「NCD登録」のフィードバックでも評価していただきたいと思います。

この実績を作り上げた背景には、地域の医療施設・介護施設等の先生方や地域の皆様のご支援・ご協力あつてのことだと、感謝する次第です。これからもさらに地域医療支援病院としての役割を全うし、地域・社会に貢献していきたいと思います。

最後に、記念誌を作成するにあたり、ご多忙中にも関わらずご協力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

岡田八重子

【記念誌編集委員】

医療福祉支援部 岡田八重子
総務・人事部 神矢 有太
医療情報課 内田みゆき
衛藤 貴絵
映像メディア室 安部 真理
五阿彌直子